

答申書（案）の取りまとめについて

資料 1

「地域別計画における主要施策事業」について（諮問対象事業）

（１） 道路新設改良事業 （執行状況）

	路線名	状況	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度（予定）
事業 内容	市道 20216 号線	完了	【H20 年度整備完了】		
	市道 20299 号線	完了	【H22 年度整備完了】		
	市道 20271 号線	完了	【H23 年度整備完了】		
	市道 20061 号線	完了	【H24 年度整備完了】		
	市道 20065 号線	完了	【H24 年度整備完了】		
	市道 20042 号線	整備中	調整池築造工事、用地取得ほか（※一部繰越）	用地取得ほか（※一部繰越）	道路改良工事（繰越明許費） 用地取得ほか
	市道 20227 号線	整備中	用地取得ほか	道路改良工事	道路改良工事
	市道 20354 号線	未着手	—	—	—

計画されている 8 路線のうち 5 路線の整備が完了し、残り 3 路線のうち 1 路線についても事業が計画的に進められております。

市道 20042 号線については、通学路になっていることに加え、平成 28 年度に河内地域自治センターが供用開始されることにより、交通量の増加が見込まれ、また、東西の主要道路となることから、利用者の安心・安全を考慮のうえ、早期に整備が完了することを望みます。

市道 20227 号線については、昨年度、用地取得等が完了し、道路整備が再開される予定であることから、住民の生活環境向上や利便性確保のため、早期の工事着手を望みます。未着手路線の市道 20354 号線については、整備中の路線の進捗状況を見極めながら、路線整備の有効性及び市民の利便性などを考慮した検討が必要です。

なお、地区内全般の路線についても、計画的に整備されることを望みます。

平成 27 年度の意見

平成 28 年度の意見（案）

計画されている 8 路線のうち 5 路線の整備が完了し、残り 3 路線のうち 2 路線 についても事業が計画的に進められております。

市道 20042 号線については、通学路になっていることに加え、平成 28 年 3 月に河内地域自治センターが供用開始したことにより、交通量の増加が見込まれ、また、東西の主要道路となることから、利用者の安心・安全を考慮のうえ、早期に整備が完了されることを望みます。

市道 20227 号線については、住民の生活環境向上や利便性確保のため、早期に整備が完了されることを望みます。

未着手路線の市道 20354 号線については、整備中の路線の進捗状況を見極めながら、路線整備の有効性及び市民の利便性などを考慮した検討が必要です。

なお、地区内全般の路線についても、計画的に整備されることを望みます。

(2) 公共下水道整備事業

(執行状況)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度 (予定)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道污水管渠築造工事 (下岡本町ほか) 整備面積 7ha ・特定環境保全公共下水道污水管渠築造工事 (中岡本町外) 整備面積 6ha ・河内水再生センター増設実施設計 ・大塚中継ポンプ場実施設計, 建設工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道污水管渠築造工事 (下岡本町ほか) 整備予定面積 2ha ・特定環境保全公共下水道污水管渠築造工事 (下田原町ほか) 整備予定面積 7ha ・大塚中継ポンプ場建設工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道污水管渠築造工事 (上田原町ほか) 整備面積 80.8ha ・特定環境保全公共下水道污水管渠築造工事 (中岡本町ほか) 整備面積 8.6ha ・大塚中継ポンプ場建設工事 ・河内水再生センター水処理 4 系増設工事
整備率※1	62.4%	63.5%	—————
普及率※2	54.9%	56.1%	—————

※1：事業計画区域面積に対する整備面積の割合(平成 18 年度末で 35.6%)

※2：河内地区内の人口に対する下水道に接続できる人口の割合(平成 18 年度末で 38.1%)

平成 27 年度の意見

公共下水道の整備は、快適な生活環境の確保と豊かな自然環境を守り、河川の水質保全を図るためにも、たいへん身近で重要な事業であります。

随時、事業計画区域が拡大され、河内水再生センターの処理施設の増設や中継ポンプ場の新設を予定するなど、合併時から大きく進展しており、今後もさらなる計画的整備を望みます。

なお、普及促進のために下水道未接続者に対する働きかけを一層強化する必要があります。

平成 28 年度の意見 (案)

公共下水道の整備は、快適な生活環境の確保と豊かな自然環境を守り、河川の水質保全を図るためにも、大変身近で重要な事業であります。

随時、事業計画区域が拡大され、河内水再生センターの処理施設の増設や中継ポンプ場の新設が予定されるなど、合併時から大きく進展しており、生活環境の向上や自然保護の面からも、引き続き計画的に整備されることを望みます。

なお、普及促進のために、下水道未接続者に対する働きかけを一層強化する必要があります。

(3) 地域自治拠点整備事業

(執行状況)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度 (予定)
事業内容	地元住民による河内地区自治拠点施設建設促進委員会において実施設計内容等を説明し、河内地域自治センター・河内生涯学習センターの改築工事に着手	河内地域自治センター改築工事が竣工し、平成 28 年 3 月に河内地域自治センター・河内生涯学習センターの供用開始	旧河内生涯学習センター解体、駐車場整備工事

平成 27 年度の意見

新しい河内地域自治センターは、河内地域自治センターと河内生涯学習センターとの一体的整備として、平成 28 年 4 月の供用開始に向けて整備工事が進められています。

引き続き整備工事が順調に進むとともに、新しい河内地域自治センターが、地域住民にとって身近で質の高い行政サービスが享受でき、気軽に立ち寄れるよう、機能性や利便性を備えた施設となることを望みます。

平成 28 年度の意見 (案)

平成 28 年 3 月に供用開始した新しい河内地域自治センターは、河内地域自治センターと河内生涯学習センターが一体的に整備され、地域内外からの利用者が増加していることから、引き続き駐車場等の整備工事を順調に進めるとともに、地域住民にとって身近で質の高い行政サービスを享受できる施設となることを望みます。

(4) 小・中学校プール整備事業

(執行状況)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度 (予定)
事業内容	<p>—</p> <p>※・岡本西小プールろ過設備改修 (20 年整備完了)</p> <p>・田原西小プール塗装工事 (H21 年整備完了)</p> <p>・田原小プールろ過設備及び給排水ポンプ改修 (H23 年整備完了)</p> <p>・岡本西小プール塗装工事 (H24 年整備完了)</p>	<p>・岡本小学校プール附属棟機械室改築工事実施設計業務委託</p> <p>・岡本小学校プール附属棟機械室改築工事</p> <p>・岡本小学校プール附属棟機械室改築ろ過設備工事</p>	<p>・岡本小学校プール附属棟機械室改築工事 (繰越明許費)</p>

平成 27 年度の意見

小・中学校のプールは、児童・生徒の体力向上を図るために必要不可欠な体育施設であるため、衛生面や安全面に配慮し、老朽化した施設の改修を計画的に進めることを望みます。

平成 28 年度の意見 (案)

小・中学校のプールは、児童・生徒の体力向上を図るうえで必要不可欠な体育施設であるため、子ども達が安心して利用できるよう、衛生面や安全面に配慮するとともに、老朽化した施設の改修を計画的に進めることを望みます。

(5) 中央公民館改修整備事業

(執行状況)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度 (予定)
事業内容	地元住民による河内地区自治拠点施設建設促進委員会において実施設計内容等を説明し、河内地域自治センター・河内生涯学習センターの改築工事に着手	河内地域自治センター改築工事が竣工し、平成 28 年 3 月に河内地域自治センター・河内生涯学習センターの供用開始	旧河内生涯学習センター解体、駐車場整備工事 (再掲)

平成 27 年度の意見

新しい河内生涯学習センターは、河内生涯学習センターと河内地域自治センターとの一体的整備として、平成 28 年 4 月の供用開始に向けて整備工事が進められています。

引き続き整備工事が順調に進むとともに、新しい河内生涯学習センターが、地域住民にとって気軽に集えるひとつづくりとまちづくりの拠点として、機能性や利便性を備えた施設となることを望みます。

平成 28 年度の意見 (案)

平成 28 年 3 月に供用開始した新しい河内地域自治センターは、河内地域自治センターと河内生涯学習センターが一体的に整備され、地域内外からの利用者の増加が見込まれることから、引き続き駐車場等の整備工事を順調に進めるとともに、地域住民にとって身近で質の高い行政サービスを楽しむことができる施設となることを望みます。

(6) 岡本駅西土地区画整理事業

(執行状況)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度 (予定)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・仮換地指定 (1.6ha) ・建物移転 (14 棟) ・道路築造 (300m) ・整地造成 (10,151 m²) 	<ul style="list-style-type: none"> ・仮換地指定 (1.4ha) ・建物移転 (29 棟) ・道路築造 (384m) ・整地造成 (10,939 m²) 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路築造工事 延長 460m (都市計画道路・区画道路) ・雨水排水築造工事 延長 90m ・整地工事 面積 15,000 m²
進捗率※	52.0%	55.2%	—————

※進捗率＝目標値の事業費 26,000 百万円に対する実績累計の金額の割合

平成 27 年度の意見

岡本駅西土地区画整理事業は、長期にわたり多額の財源が投入され、地域住民の理解と協力のもと、精力的に取り組まれ、河内地区の玄関口としての都市基盤の整備が着実に進められております。

今後も、地域住民の意見を取り入れ、住みたいと思えるような魅力ある都市環境づくりと地域の発展のため、計画的な整備を積極的に進めるとともに、土地利用の促進を図り、安心・安全な地域になることを望みます。

平成 28 年度の意見 (案)

岡本駅西土地区画整理事業は、長期にわたり多額の財源が投入され、地域住民の理解と協力のもと、精力的に取り組まれ、河内地区の玄関口としての都市基盤の整備が着実に進められています。

今後も、地域住民の意見を取り入れ、住みたいと思えるような魅力ある都市環境づくりと地域の発展のため、着実に整備を進めるとともに、土地利用の促進を図り、安心・安全な地域になることを望みます。

(7) 岡本駅前周辺整備事業

(執行状況)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度 (予定)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・東西自由通路・橋上駅舎工事 ・駅西口広場築造工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・東西自由通路・橋上駅舎工事 ・駅西口広場築造工事 ・西口駐輪場整備工事 ・駅東口電線共同溝詳細設計 	<ul style="list-style-type: none"> ・東西自由通路・橋上駅舎工事 (工事期間：26～28年度) ・整備工事費ほか ・駅西口広場舗装工事など (岡本駅西土地地区画整理事業にて計上)

平成 27 年度の意見

岡本駅前周辺地区は、宇都宮市都市計画マスタープランの全体構想において、本市北東部の地域交流拠点の一つに位置づけられており、地域の要となるものであります。

現在、岡本駅の橋上駅舎化の整備が平成 28 年度の事業完了に向けて進められており、この整備にあたっては、岡本駅西土地地区画整理事業の進捗状況に合わせてとともに、駅周辺の活性化ならびに、宇都宮市の北の玄関口に相応しい岡本駅前周辺整備を望みます。

平成 28 年度の意見 (案)

岡本駅前周辺地区は、宇都宮市都市計画マスタープランの全体構想において、市北東部の地域交流拠点の一つに位置づけられており、地域の要となるものです。

平成 28 年 7 月に岡本駅の橋上駅舎と東西自由通路の供用が開始しましたが、駅西口広場舗装工事などの事業についても、岡本駅西土地地区画整理事業の進捗状況に合わせてながら、駅周辺の活性化と利用者に配慮した、宇都宮市の北の玄関口に相応しい整備を望みます。

(8) 農村公園等整備事業

(執行状況)

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度 (予定)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・農村公園整備の整備内容等について、関係部署との協議 ・地元と協議（整備の進め方、維持管理について） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 4 月 下組自治会から『農村公園の整備は必要ない』との意向を受けた。 ・ 8 月 下田原南部 2 ケ所の農村公園について、地元自治会の意向や地域の状況を踏まえ、整備しない方向とした。 ・ 3 月 地元自治会の意向等を踏まえ、農村公園の整備を行わない旨を地元自治会に説明した。 	農村公園については、整備しない方向とする。

平成 27 年度の意見

農村公園については、これまでも地元と整備のあり方について協議を行ってきたところであり、地域の活性化が促進されるよう、有効活用も含め、具体的な検討を進めていくことを望みます。

平成 28 年度の意見 (案)

農村公園については、これまでの地元との整備のあり方の協議を踏まえ、地元の意向に沿って整備しないことを望みます。

なお、整備予定であった土地については、地域の活性化に繋がるよう、今後、有効活用に向けて検討を進めていくことを望みます。

(9) 農道整備事業

(執行状況)

事業内容	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度 (予定)
下ヶ橋河原地区	2 地区 (334m)	1 地区 (81m)	—
下田原南部地区	236m	340m	230m

平成 27 年度の意見

地域の重要な産業である農業の生産性の向上と農業経営の合理化のため、農道整備が順調に進められております。

今後も、計画的に整備が推進されることを望みます。

平成 28 年度の意見 (案)

地域の重要な産業である農業の生産性の向上と農業経営の合理化のため、農道整備が順調に進められており、今後も、地元の要望を踏まえながら、計画的に整備されることを望みます。